

ヒブ (Hib)

☆Hibとはインフルエンザ菌b型のことで、口や鼻などから吸いこむことで感染します。

(冬に流行するインフルエンザとは全く別のものです。)

☆Hibに感染すると肺炎、細菌性髄膜炎(脳を包んでいる膜の炎症)、菌血症(菌が血液に入り高熱が出るなどする)、喉頭蓋炎(のどの奥がはれて息ができなくなってしまうことがある)などになってしまいます。

☆Hibワクチンを接種することで、体のなかにHibへの抵抗力(免疫)ができます。

☆このワクチンは生後2か月になってから接種し始めます。

☆Hibワクチンは不活化ワクチンです。

■予防接種の回数

接種を始める月(年) 齢によって回数や間隔が異なります。

①生後2～7か月未満から開始した場合(標準)

合計4回。次ページをご覧ください。

②生後7～12か月未満から開始した場合

合計3回。間隔は次のとおり。

1回目…開始

2回目…1回目から27日以上(医師が必要と認めたら20日以上)の間隔。(標準的な接種間隔: 27～56日)
1歳未満まで。

追 加…2回目から7か月以上の間隔。(標準的には7か月以上13か月未満)
5歳未満まで。

③1～5歳未満から開始した場合

合計1回。5歳未満まで。



■予防接種の受け方

いつ受けるの?

接種年齢 生後2か月以上5歳未満

(標準的な接種年齢: 初回接種の開始が生後2か月以上7か月未満)



どこで?

福島市登録医療機関に予約してください



持っていくものは?

母子健康手帳、ヒブ予防接種予診票、保険証など



回数と間隔は?

初回1回目 (生後2か月以上7か月未満)



1回目から27日以上あける(標準的な接種間隔: 27～56日)

初回2回目 (1歳未満)



2回目から27日以上あける(標準的な接種間隔: 27～56日)

初回3回目 (1歳未満)



3回目から7か月以上あける
(標準的な接種間隔: 3回目から7か月以上13か月未満)

追 加

■おこるかもしれない体の変化(副反応)

- Hibワクチンを接種した後、接種個所が赤くなったり、はれたり、しこりができたり、痛みを感じたりすることがあります。
- 機嫌が悪くなったり、食欲がなくなったり、熱がでたりすることがあります。
- きわめてまれに、アナフィラキシー(急激なアレルギー反応)やけいれん、血小板減少性紫斑病(かさぶたをつくる働きの血小板が少なくなつて、出血しやすくなる)などの重い症状があらわれることがあります。

○予防接種をうけた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐに接種医に相談してください。